生活科・小学校・２年　豊岡市立小坂小学校　　教諭　　早崎　敦子
単元名　わたしたちの　ごみだいさくせん

題材名「わたしたちのごみを考えよう」

■　目　標

自分たちの教室や家庭から出るゴミに関心を持ち、聞いたり調べたりすることを通して、ゴミが環境に与える影響について知る。さらに、分別したり再利用したりする理由について考え、自分たちにも出来ることに気付くことができる。

■コンピューターを活用する利点

子どもたちに伝えたい情報を、まとめられたコンテンツの中から選び、大きな画面でテンポよく見せることができる。このことによって、貼ったり貼り替えたりの作業で子どもたちの集中が途切れることなく、必要な情報を伝えることができるので、考えさせる場面を有効に利用することができる。

■　授業の流れ

１．自分で調べたゴミ処理の仕方を発表する。

２ゴミ問題のコンテンツ「小さな町の大きな挑戦」のコンテンツを見せ、ゴミの害とリサイクルについて知る。

３．おもちゃ作りをする際に出たゴミを分別させ、ゴミ処理調べや、本時学んだゴミの害やリサイクルについて考え合わせながら、教室でのゴミ処理の問題点を見つける。

４．ゴミについて、自分でできることを考え、ワークシートにまとめる。

５．４で考えたことを発表し、ゴミ処理に関する思いをまとめる。

■　ＩＣＴ活用場面

本時ではコンテンツをスマートボードに映し、授業を進めていった。今回使用したコンテンツは対象が高学年であるため、グラフやコメントなどは２年生にとって難しいものもあった。しかし、写真やグラフにはインパクトがあり、ゴミ問題を視覚的にとらえることができるため、授業に取り入れることにした。映像をとおして授業を進めていったことで、一人一人が集中して取り組み、強い関心を持ってゴミ問題を考えることができた。

■　成果と課題

本単元は環境教育としても位置づけている。ゴミの問題については学年が上がっていく中で、総合的な学習でも学んでいく。また、ゴミ問題を総合的にとらえるには様々な知識も必要となってくる。今の段階ではそこまでの学習には至っていないが、コンテンツを使用することによって、スムーズに知識を得ることができ、ゴミ問題について２年生なりによく考え、深めることができた。

今後発達段階に合わせたコンテンツを自分で作ることができれば、もっと有効に活用していけるのではないかと考える。

■　ＩＣＴ活用環境等

使用周辺機器	ノートパソコン・プロジェクター スマートボード
使用ソフト名	Internet Explorer
使用教室	普通教室
参考	http://tossmiyazaki.net/kataoka/zerowaste.htm